



池島魂



教育目標 「愛顔でより良い未来に向かって努力する子供の育成」

文責：校長

児童会・生徒会 2月の目標

『愛顔』があふれる掲示板をつくろう

児童会生徒会では、2月の目標を達成するためにみんなが愛顔になれる言葉を児童・生徒、先生方に書いていただき掲示しています。それぞれに自分が心にとめている偉人や哲人の言葉などを紹介しています。私は、喜多川泰さんの「手紙屋」の言葉を紹介していますが、その他にもよりよく生きる指針となる言葉がありますので味わってみてください。下は同じく喜多川泰さんの「スタートライン」の一節です。



「今の世の中、^{しょうらい}将来が見えない」という人が多い・・・でも、今に^{かぎ}限らずこれまでだって、^{しょうらい}将来のことは常に決まっていなかった。^{つね}私たちに^{しょうらい}、いつも^{くうはく}将来は空白だった。その空白を^{くうはく}何で^う埋めようとするかで、人生は大きく変わる。

^{みらい}未来の空白を「^{くうはく}不安」で埋める人は、「^{ふあん}不安」で^う埋める人は、「^{あんてい}安定」を^{もと}求めて^{こうどう}行動する。そして、こんなはずじゃなかったという^{できごと}出来事が起こったときに、^お人のせいにする。

一方で、^{みらい}未来の空白を「^{くうはく}希望」で^{きぼう}埋める人もいる。^う将来に^{しょうらい}希望を持った人は、「^{ちようせん}挑戦」を選ぶ。^{えら}もちろん先に待っているのは、こんなはずじゃなかったという^{できごと}出来事もあるかもしれない。でも、^{ちようせん}挑戦を選んだ人は、^{えら}人のせいにしな^{しんけん}い。「今まで自分がやってきたことの何が^{しんけん}いけなかったのだろう」と真剣に考え、行動を繰り返していく。そこに「^{じんせい}人生の学び」や「^{せいちよう}成長のきっかけ」がある。

いかがでしょう・・・、私たちの日ごろの生活に置きかえてみると以下のようなことを教えてくれているように感じます。

自分にかかわる出来事（自分がやろうとしていること、自分やらなければいけないことなど）・・・、これらをどうとらえるかで、人とのかわり方が、授業や家庭学習などの勉強の仕方が、部活動や行事の取組の仕方が変わります。

自分にかかわる出来事を「希望」（成長には欠かせないこと）とポジティブにとらえる人は、「挑戦」を続けます。そして、例えうまくいかなかったとしても、「どうしてできないんだろう？自分に足りないものはなんだろう？」と、矢印の方向が自分に向けられています。

自分にかかわる出来事に「不安」（きついことは必要ないこと、価値のないこと）とネガティブにとらえる人は、「安定」を選びます。そして、「今が楽であればそれでいい・・・うまくいかないのは周りのせい・・・」と、矢印の方向が自分以外に向けられます。

私たちは、このポジティブとネガティブの感情のせめぎあいの中で生きています。どちらが愛顔や成長につながるのか知っています。

3月も半ばとなりました。「前に行く勇氣」で、「挑戦」の姿勢を人とのかわり方をベースに、すべての授業や家庭学習、部活動や諸活動に広げて自分をもっと大きくしていきましょう！

「まちづくりアイディアコンテスト」^{ひょうしょうでんたつ}表彰伝達

3月13日（水）の朝の会で表彰伝達式を行いました。

おめでとうございます！ますますの精進^{しょうじん}を期待しています。

佳作： 池島小学校 5年



